



常州試験センターにて吸湿発熱性試験(JIS/ISO)を開始しました 新しい機能性試験も中国での実施でさらに早く、便利に！

2022年3月、ボーケン常州試験センターにて吸湿発熱性試験装置を導入いたしました。試験項目としては、JIS L 1952「生地吸湿発熱性試験方法」及びISO 18782「Textiles-Determination of dynamic hygroscopic heat generation」の受付が可能となりました。

これらの試験は従来日本で実施しておりましたが、中国にも実施拠点を設けたことで、これまで以上にスピーディな対応が可能となります。

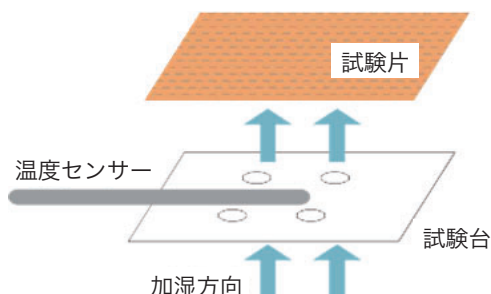
吸湿発熱性試験方法一覧

試験方法	必要サイズ	評価の目安	評価方法
JIS L 1952-1:2021 JIS L 1952-2:2021	6cm × 6cm 4枚	JIS L 1952-1:2021 最大吸湿発熱温度 1.6℃以上 かつ JIS L 1952-2:2021 熱保持指数 300℃・s以上※	試料単体で 評価が可能
ISO 18782:2015	6cm × 6cm 4枚	最大吸湿発熱温度 1.6℃以上 (合成繊維)	試料単体で 評価が可能
ボーケン法 BQE A 035	20cm × 20cm 2枚 (対象品:2枚、比較品:2枚)	対象品と比較品の最大温度差が 0.5℃以上みつめられること	対象品と 比較品が必須

※最大吸湿発熱温度を満たした場合のみ適用

試験方法 (JIS/ISO)

試験片 (60mm×60mm) の肌側面に、低湿度空気 (20℃,40%RH) から高湿度空気 (20℃,90%RH) を供給した時の試験片の温度変化を測定します。



吸湿発熱性試験装置

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

常州試験センター

江蘇省常州市天寧区青洋北路47号
常州檢驗検測認証産業園17号楼

担当：深浦 一幸

TEL: 0519-85807907

Email: fukaura@boken.or.jp

担当：尤薇琳

TEL: 0519-86695707

Email: bkyouyou@boken.or.jp

大阪機能性試験センター

大阪市港区築港1丁目6番24号

担当：小野 彰徳

TEL: 06-6577-0163

Email: ono@boken.or.jp